


授業の流れシート（指導案を作成していない場合は、こちらに記入をお願いします。）

単元名 (+教科書名)	
対象学年	4年生から6年生
授業実施日	2023年3月8日
事前の準備	<ul style="list-style-type: none"> ●鶴見大学の有志の学生さんと学校司書が選んだ本のうち、点字絵本や蔵書にない視覚障害関連の図書資料を横浜市立図書館より教職員貸し出しで借りる ●横浜市立図書館より点字版キットを借りる。 ●横浜市立図書館の蔵書にない本は鶴見大学図書館からお借りする ●鶴見大学の有志の学生さんが、視覚障害に関する本についてクイズ交えたポップを作成 ●元木先生による視覚障害に関する年表をいただき、それを掲示。内容が小学生には難しかったので、「学校教育」「点字図書館」「公共図書館」に関することでそれぞれ色の付箋を貼ってみるチャレンジとした ●身の回りでみつけた点字を付箋ではっていくポスター掲示 ●横浜市立山内図書館の視覚障害者向けのサービスを紹介ポスター作成展示 <p>〈視覚障害いまむかし年表〉</p> 

〈鶴見大学図書館からお借りした資料と3Dプリンター作成物〉



当日の内容

【導入】

鶴見大学文学部元木先生より

墨字と点字のお話

3Dプリンターで建造物の模型をつくるのがどのように視覚障害の方の役にたてるか、NHK福岡放送の録画(元木先生の研究を取材されたもの)を視聴

【展開】

5グループに分かれて5か所のブースを4分ずつ順に回る。担当者は簡単に展示を説明、担任はタイムキーパーとして一緒に児童とまわる。

- 3Dプリンターに関すること(元木先生)
- 90年前の4年生国語の教科書、点字プリンター、点訳された本など(学校司書)
- 視覚障害などに関する本①(鶴見大学学生)
- 視覚障害などに関する本②(鶴見大学学生)
- 点字絵本など(鶴見大学学生)

※自由に見て回るのではなく、グループに分けて時間を決めてすべて回るようにすることで、興味があまりない児童も必然的に展示をみることになる。



【まとめ】

元木先生より墨字と点字で書かれた資料を見比べてほんのちょっとだけ点字の部分に書かれている内容が異なっている部分を探してみよう！というお題をもらう。答えは一週間後くらいに配布、点字には漢字がないので、漢字部分が「今昔(いまむかし)」という記載が、点訳されると「いまむかし」だけとなる

※3月8日以外の日は、1年生から6年生まで同様の内容で学年にあわせて学校司書が資料の説明をし、児童が資料を読んだり体験したりする時間を各クラス1時間取った

シート記入者名

横浜市立あざみ野第一小学校 学校司書 近江 弥穂子